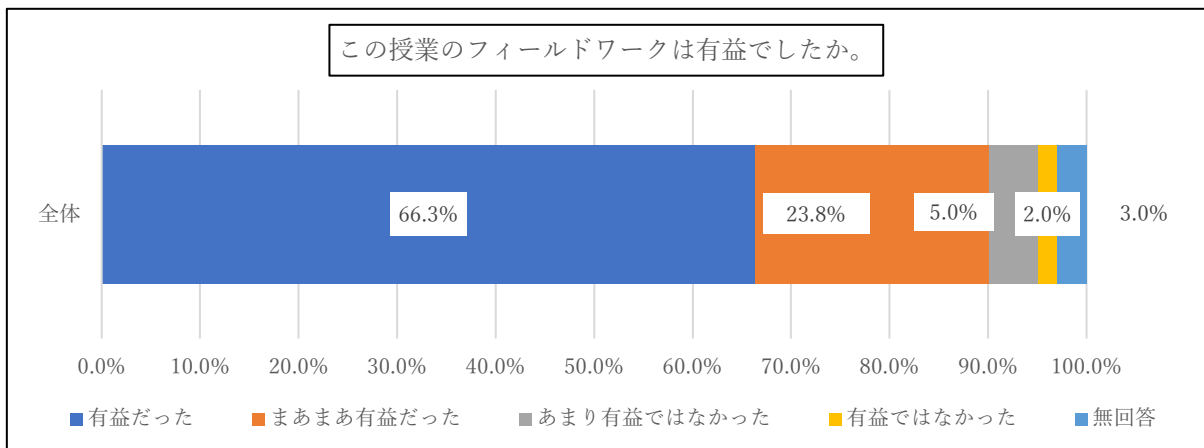
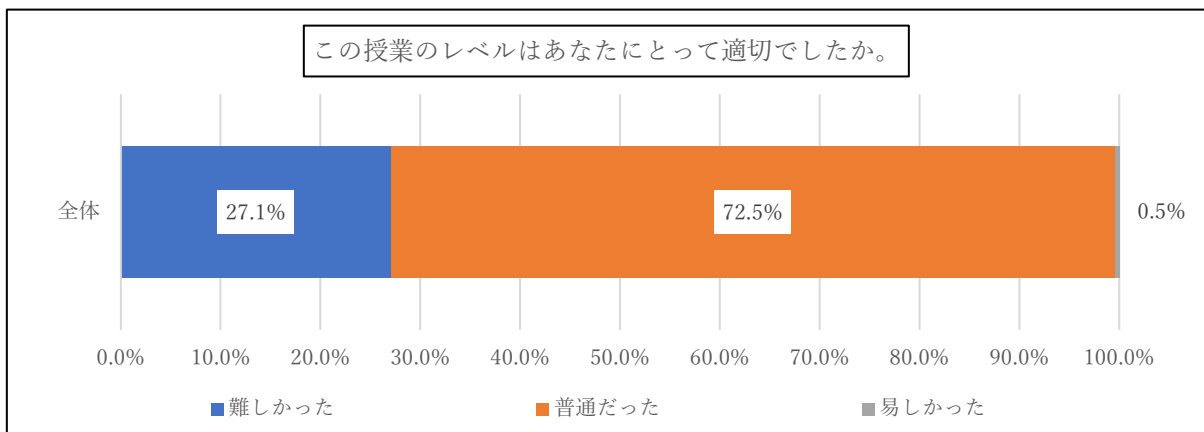
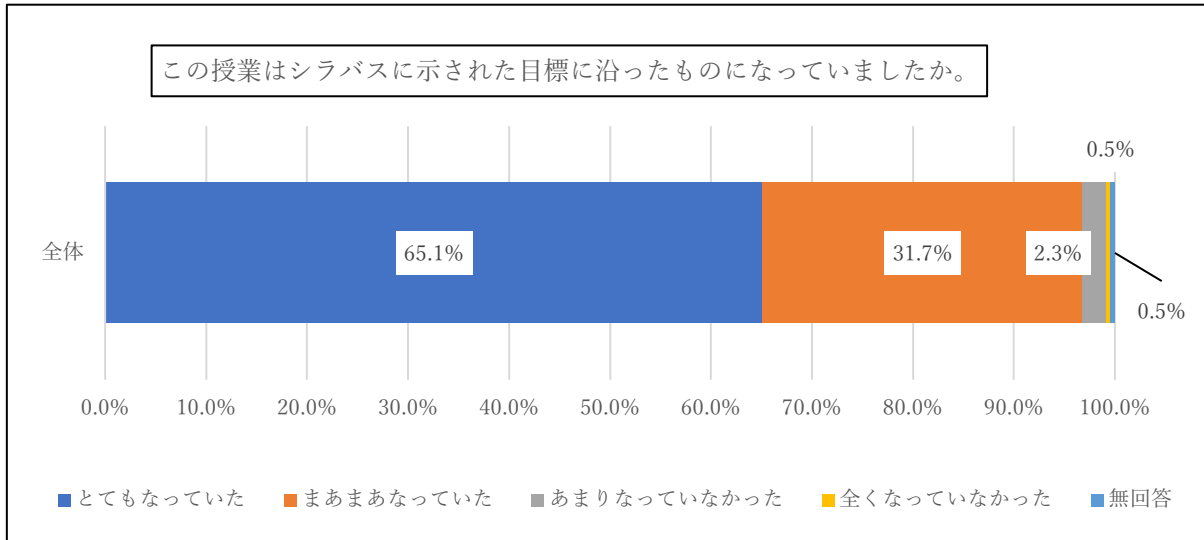
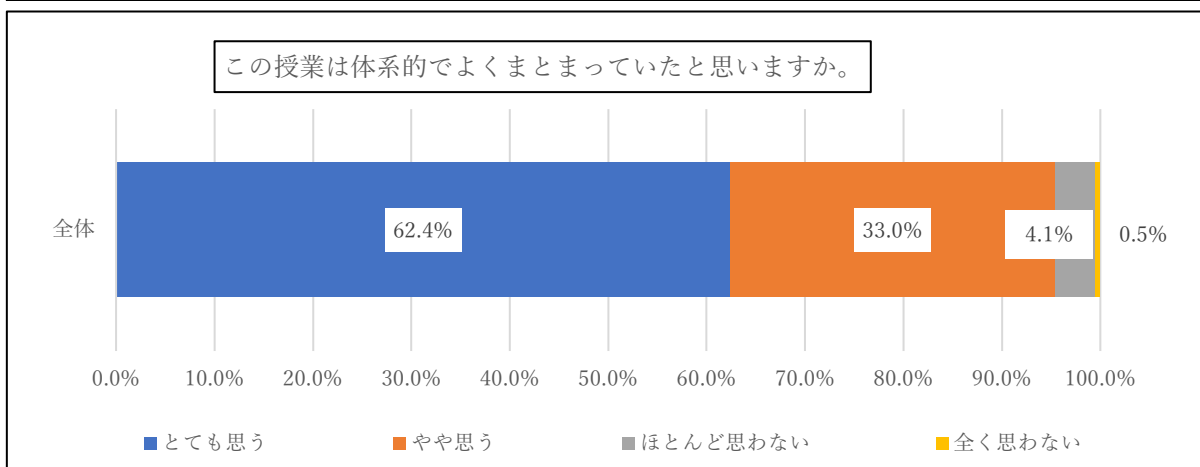
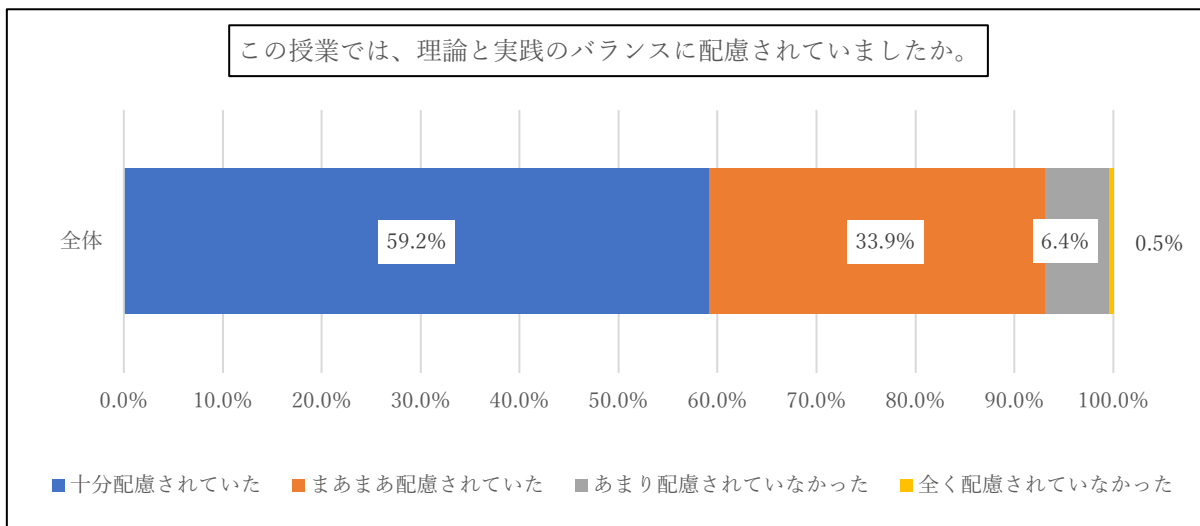


## 2020 年度秋学期「授業アンケート」

### 授業アンケートの結果

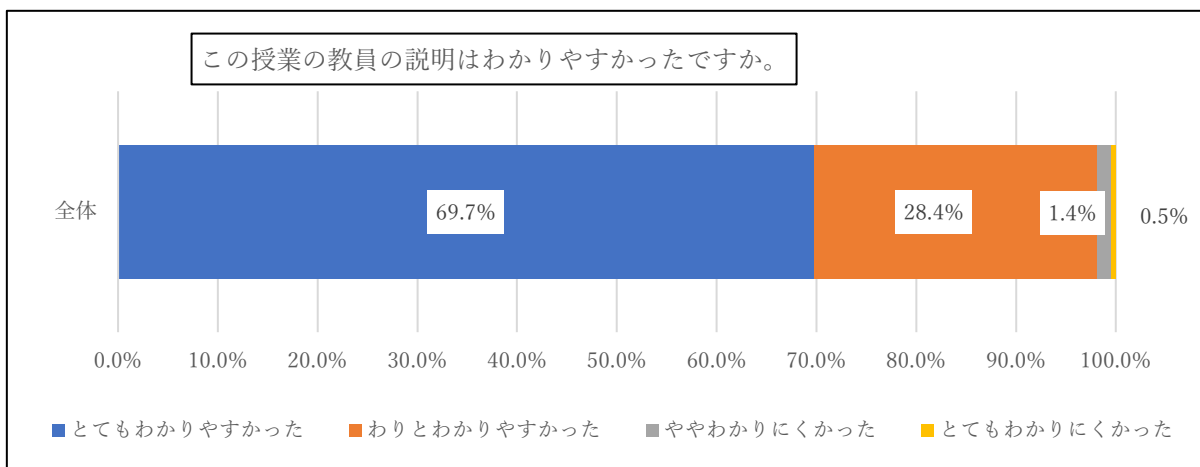
#### (1) 授業内容について

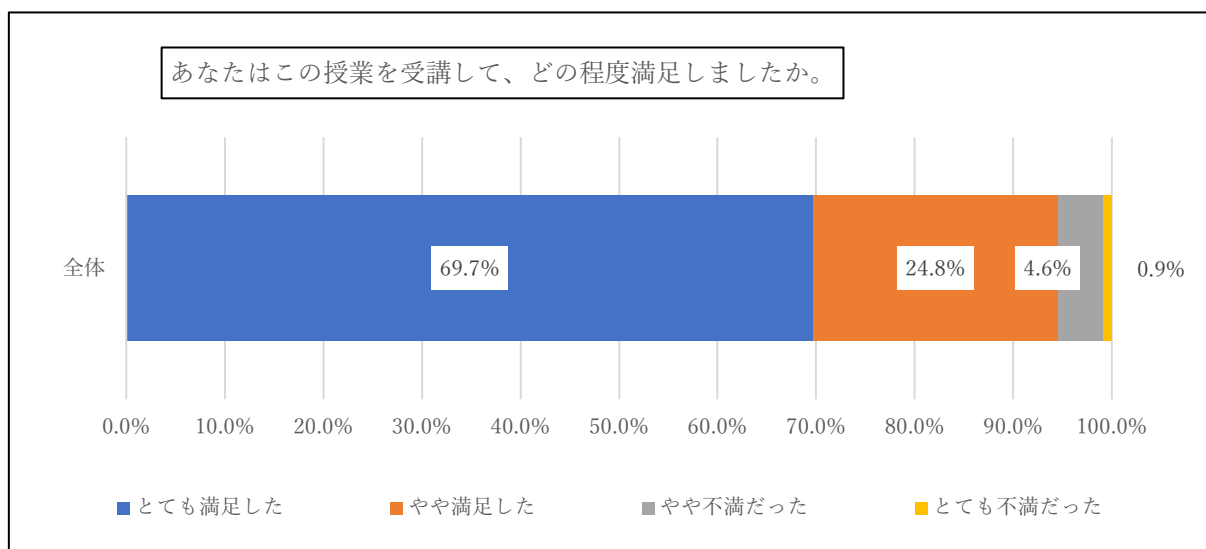
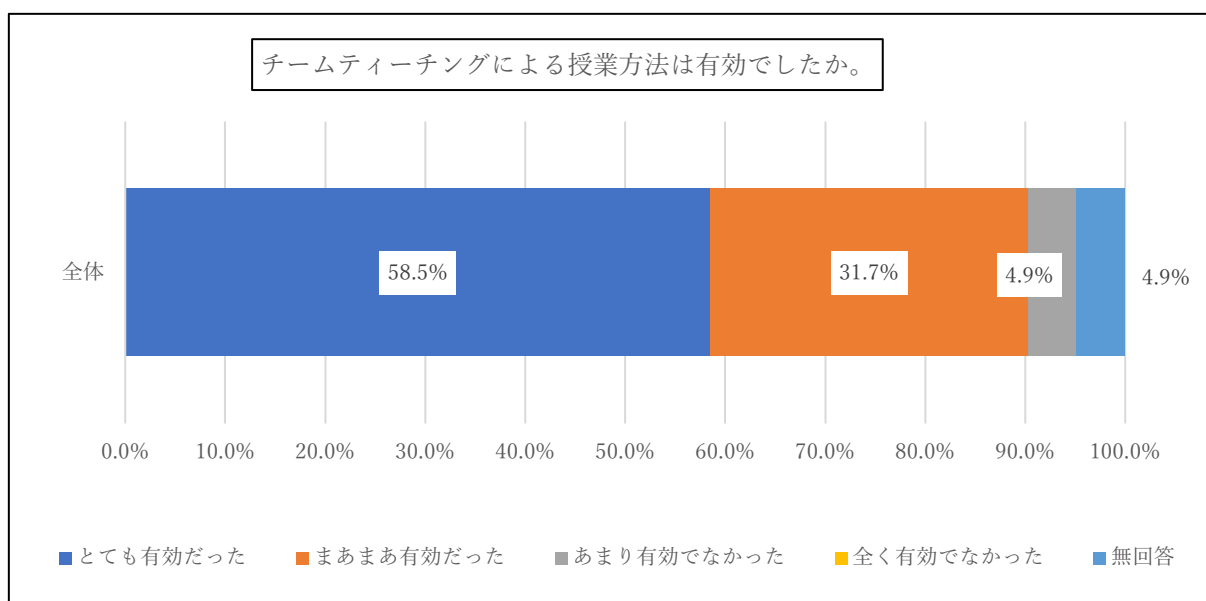
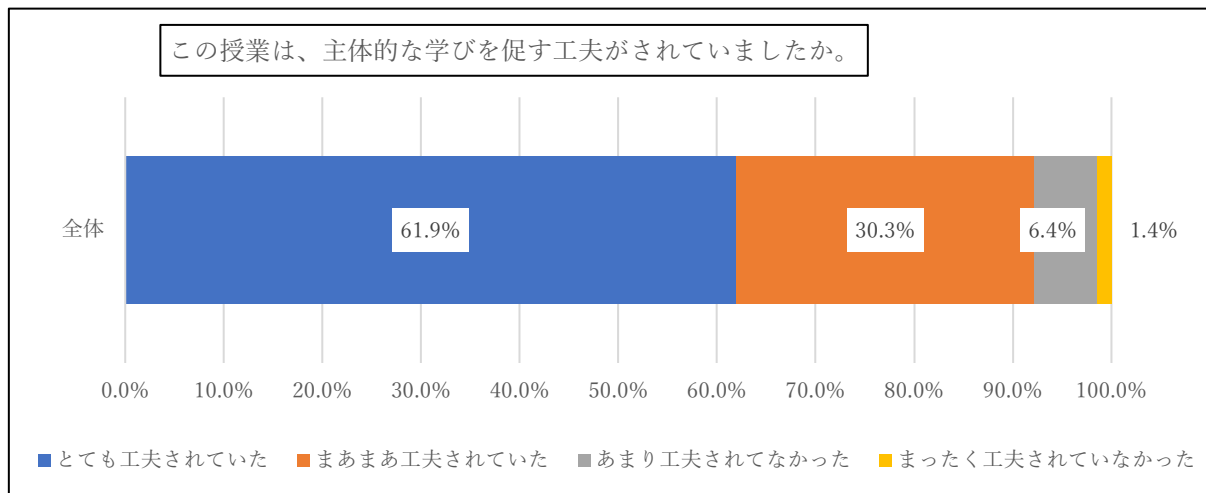




「授業内容について」は、昨年に引き続きおおむね良好な状態が維持されている。ただし、フィールドワークが有益か、理論と実践のバランスへの配慮及び体系的でまとまっているかに関しては、否定的な回答がそれぞれ5%前後あり、さらなる改善に向けて課題が残されている。

## (2) 授業の進め方について

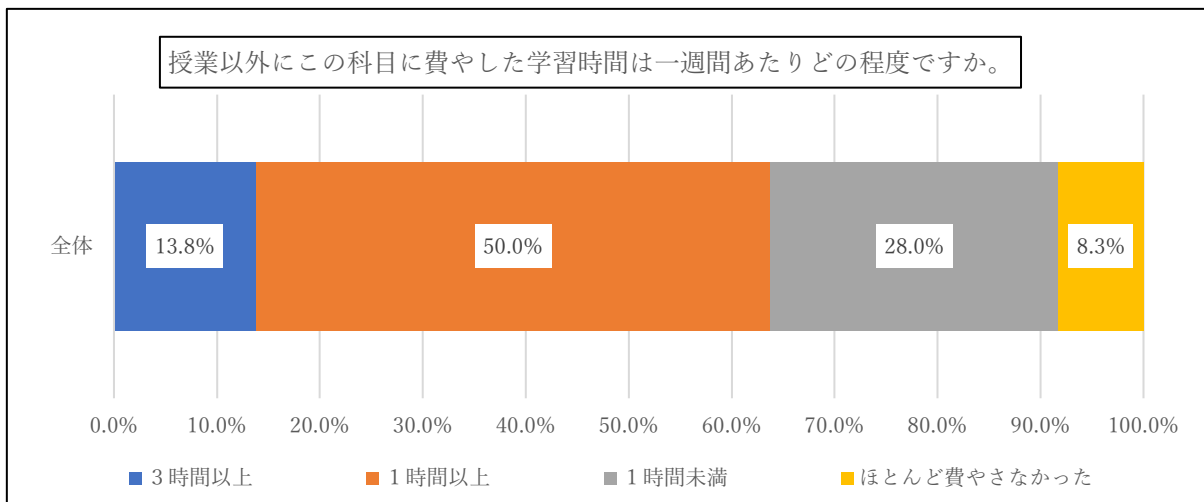
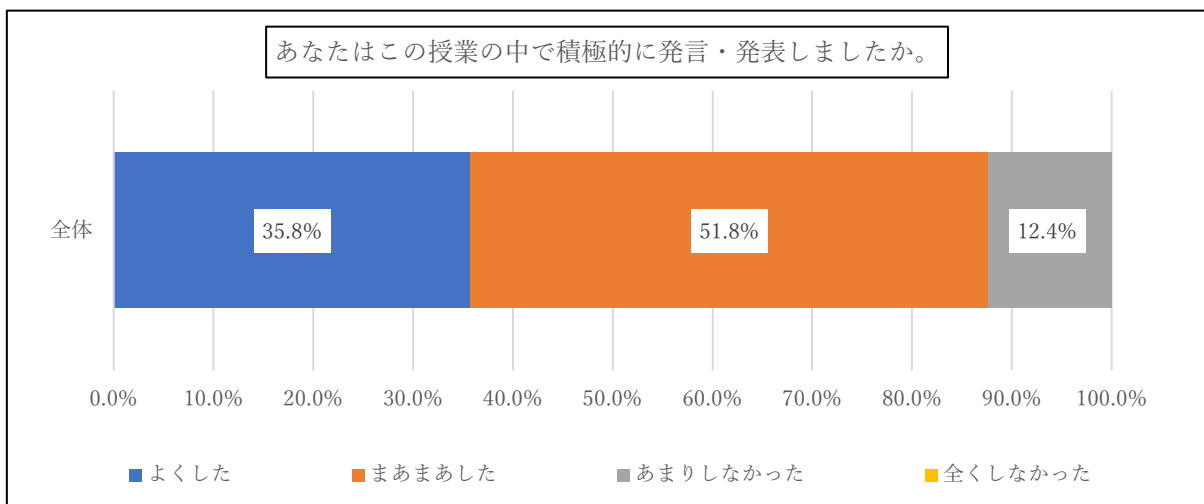
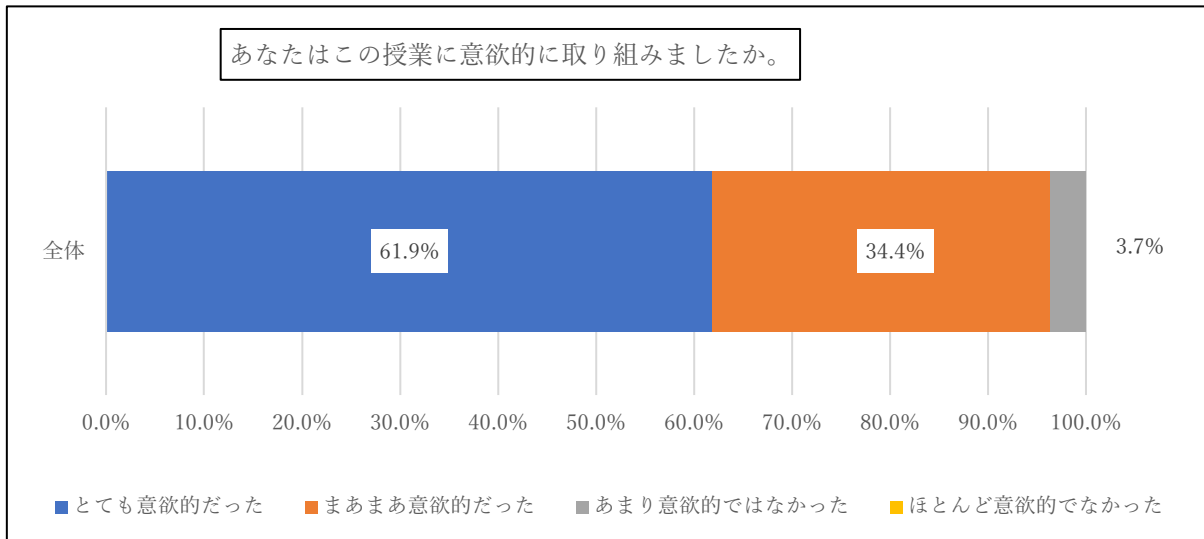


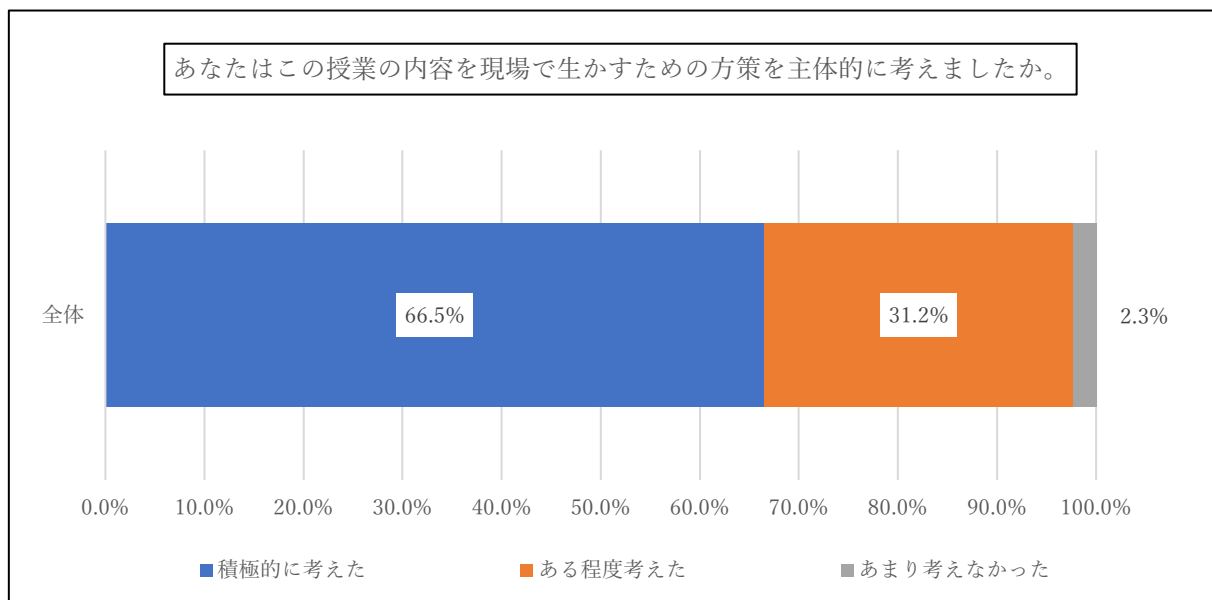
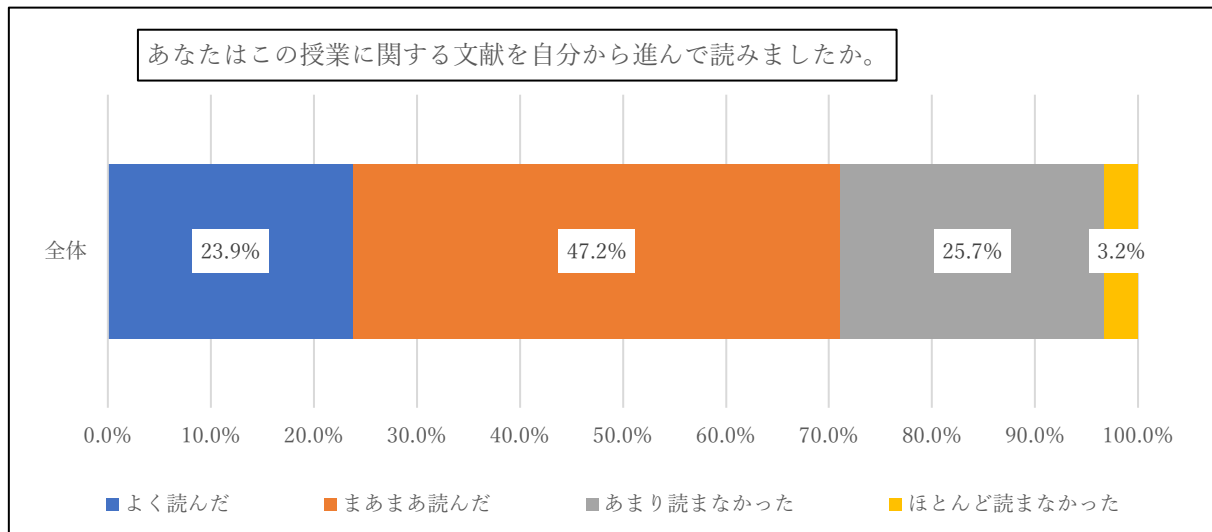


「授業の進め方について」の結果も、おおむね良好だった昨年度より改善された項目が多く、主体的な学びを促す工夫、説明のわかりやすさ、授業の満足度について、それぞれ最も肯定的な「とても」という回答が昨年度より10ポイント以上増加している。ただし、チームティーチング

の有効性については昨年度の水準を少し下回る結果であった。チームティーチングの有効性及び授業の満足度については、否定的な回答が 5%弱見られることから、引き続き改善に取り組む必要がある。

### (3) 受講生の取組について





「受講生の取組について」は、昨年度に比較して大幅な改善が見られた。春学期はコロナ禍の影響によりオンライン授業となったため、M1 にとっては初めて対面での授業となったが、すべての項目で積極的な取組が昨年度より高まる結果となった。授業以外での学習時間及び授業に関連する文献を読むことについては改善の余地があり、個人差にも配慮しながら、さらに主体的な学びを育むことが課題である。